LIXIL　アーキカット門扉　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中･軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

●本製品は、住宅および集合住宅の玄関アプローチなどの屋外通路への設置を目的にしています。

注意

●製品の施工には、危険が伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●壁付錠受けはコンクリート壁面に施工してください。コンクリート壁面の厚さが80mm以上あることを前もって確認してください。80mm未満では、フィッシャープラグ用下穴が壁を貫通して、取付け強度低下の原因になります。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●アーキカット門扉は片開き専用です。

<施工上の注意>

注意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工終了後は、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●ネジ類は弊社純正品の規定本数を確実に締め付け、固定してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

【1】Aタイプ

名　　称	略　図	員　数
合掌框		1
吊元框		1
上下桟		2
上下桟カバー		2
小桟		7
合掌框キャップ（上）		1
合掌框キャップ（下）		1
吊元框キャップ（上）		1
吊元框キャップ（下）		1
小桟キャップ		14
プッシュボタン		8
【1-1】φ5×90ナベタッピンネジ2種 G=45		8
【1-2】φ4×12ナベタッピンネジ1種		20
【1-3】φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6		4
穴隠しシール		1

【2】B タイプ

名　　称	略　図	員　数
アーキカットBタイプ		1

【3】アーキカット部品セット

名　　称	略　図	員　数
上ヒンジ		1
下ヒンジ		1
ヒンジ裏板		2
ヒンジキャップ		2
ヒンジカバー		2
部分戸当り		1
【3-1】M4×10トラスネジ		8
【3-2】φ4×13サラドリルネジ D=6		2
取付説明書〈A539〉	—	1

【4】壁付錠受けセット

名　　称	略　図	員　数
壁付錠受け本体		1
壁付錠受けカバー		1
壁付錠受けキャップ		2
片錠受け裏板		1
フィッシャープラグ		3
【4-1】φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6		2
【4-2】φ4×50ナベタッピンネジ1種		3

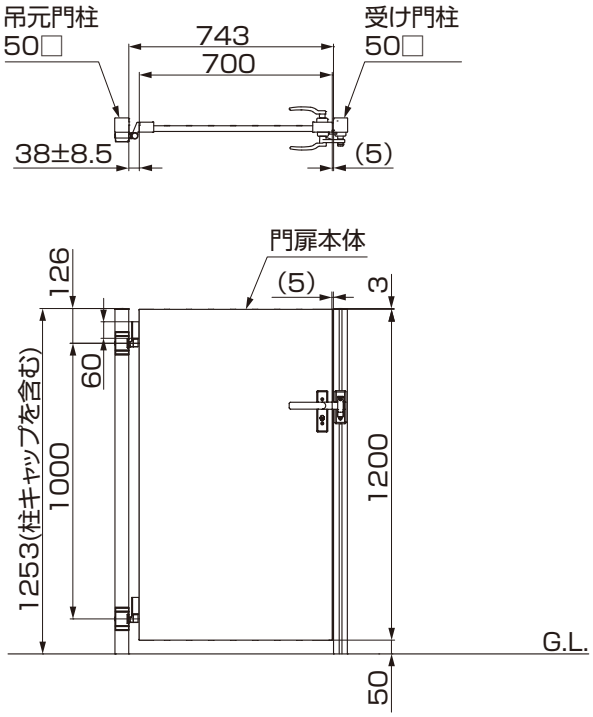
【5】片開き面付けラッチ錠用スペーサー

名　　称	略　図	員　数
片開き面付けラッチ錠用スペーサー		1
片開き面付けラッチ錠用スペーサーキャップ		2
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		4

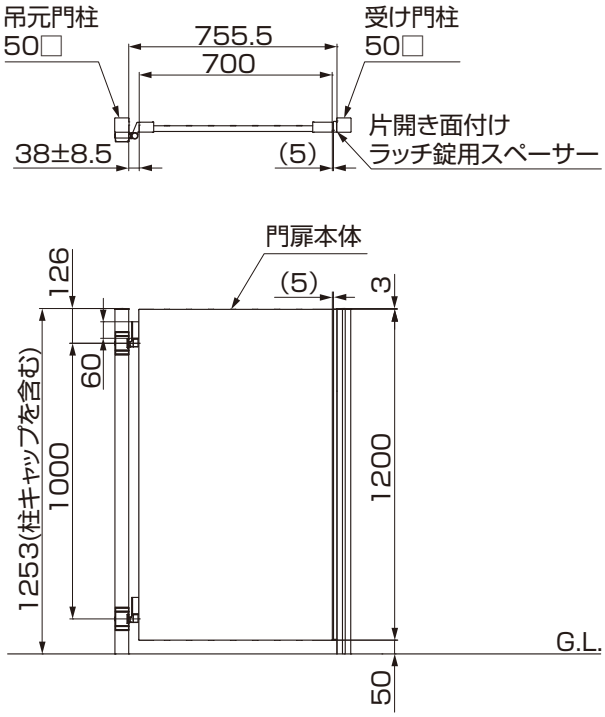
1. 基本寸法と各部名称

1-1 基本寸法

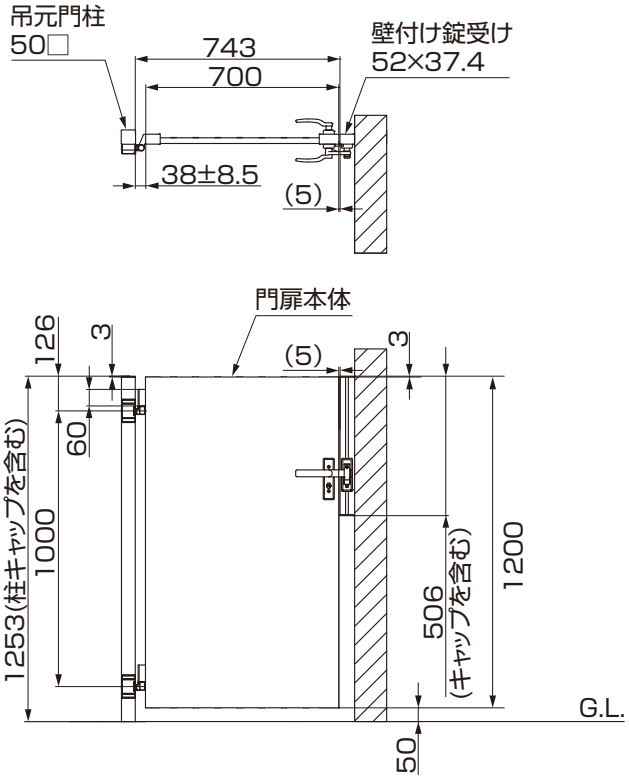
（1）シリンダーRD片錠（S）仕様



（2）面付けラッチ錠仕様



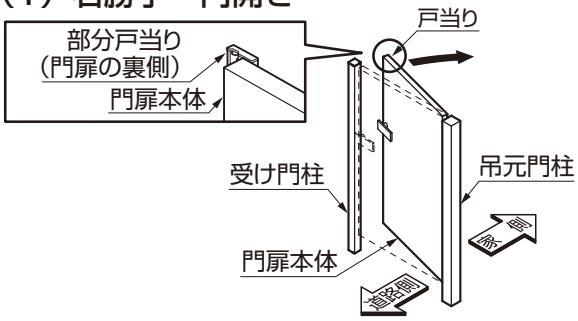
（3）壁付け錠受け仕様（シリンダーRD片錠（S）のみ）



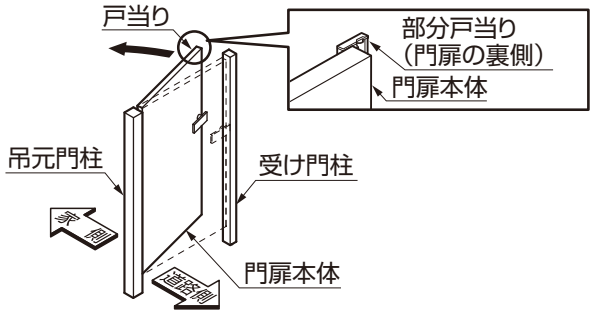
1.（つづき）

1-2 部品配置図　シリンダーRD片錠（S）仕様

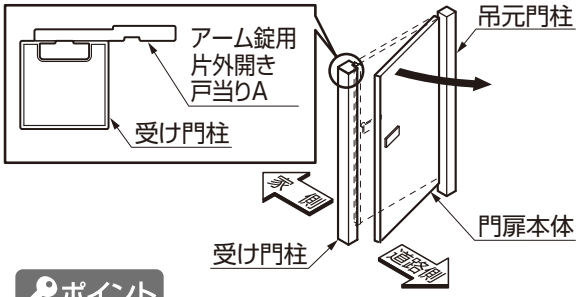
（1）右勝手・内開き



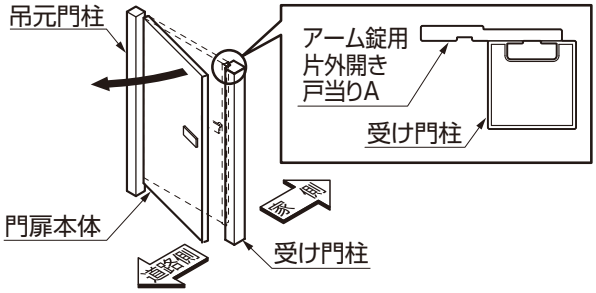
（2）左勝手・内開き



（3）右勝手・外開き



（4）左勝手・外開き

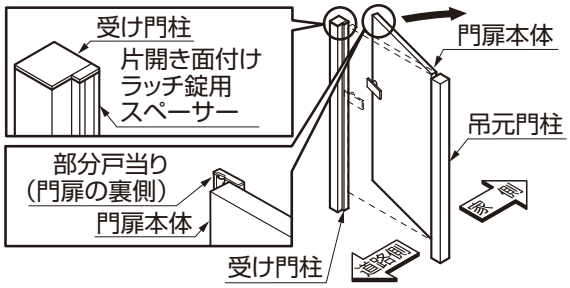


ポイント

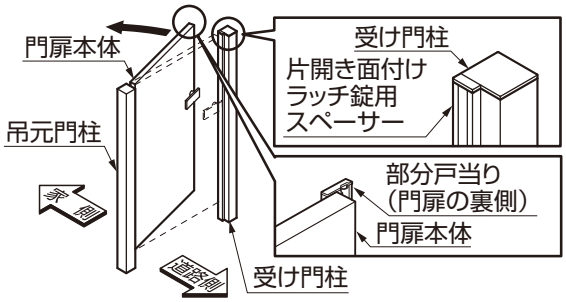
- 外開き時は別売りの外開き用持ち送りを使用してください。
- 外開き時の戸当りは、アーム錠用片外開き戸当りAを使用してください。

1-3 部品配置図　面付けラッチ錠仕様

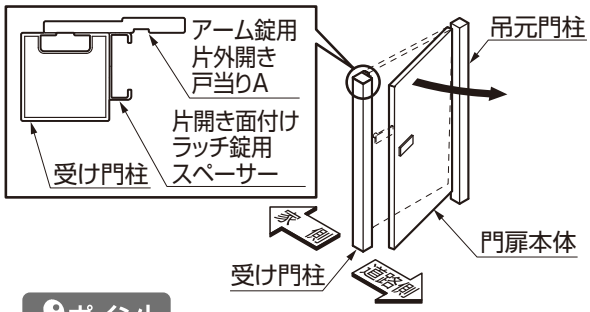
（1）右勝手・内開き



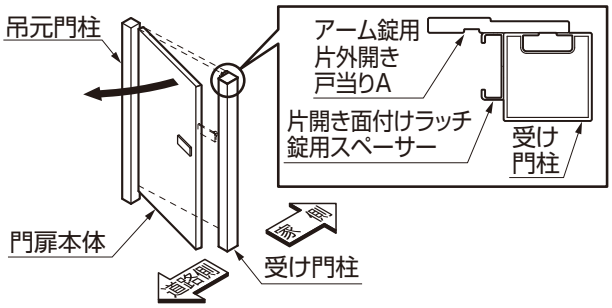
（2）左勝手・内開き



（3）右勝手・外開き



（4）左勝手・外開き



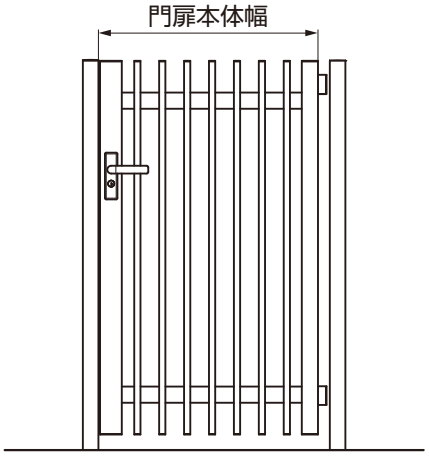
ポイント

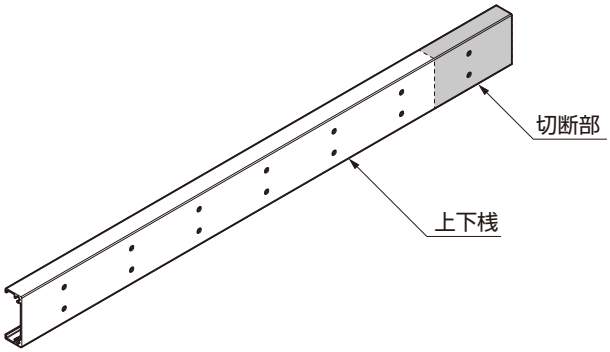
- 外開き時は別売りの外開き用持ち送りを使用してください。
- 外開き時の戸当りは、アーム錠用片外開き戸当りAを使用してください。
- 外開き時は片錠受けに外開き用キズ防止プレートを組みつけてください。

A539_201102A

2. Aタイプ門扉の取付け

2-1 Aタイプの切詰め ※切詰める場合の作業です。





①間口にあわせて上下桟と上下桟カバーを必要な長さで切断してください。

ポイント

- 門扉本体幅350mmまで切断可能です。
- 切断寸法により、どうしても上下桟の下穴が見えてしまう場合は、穴隠しシールで下穴をふさいでください。

2-2 Aタイプ門扉の組立て

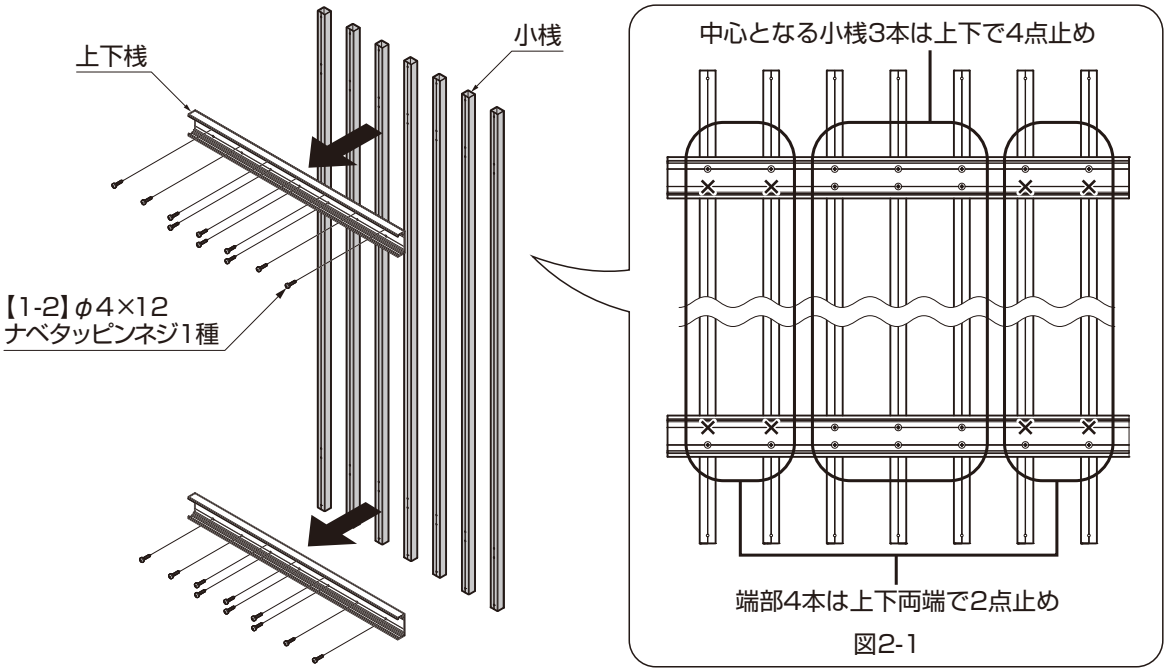


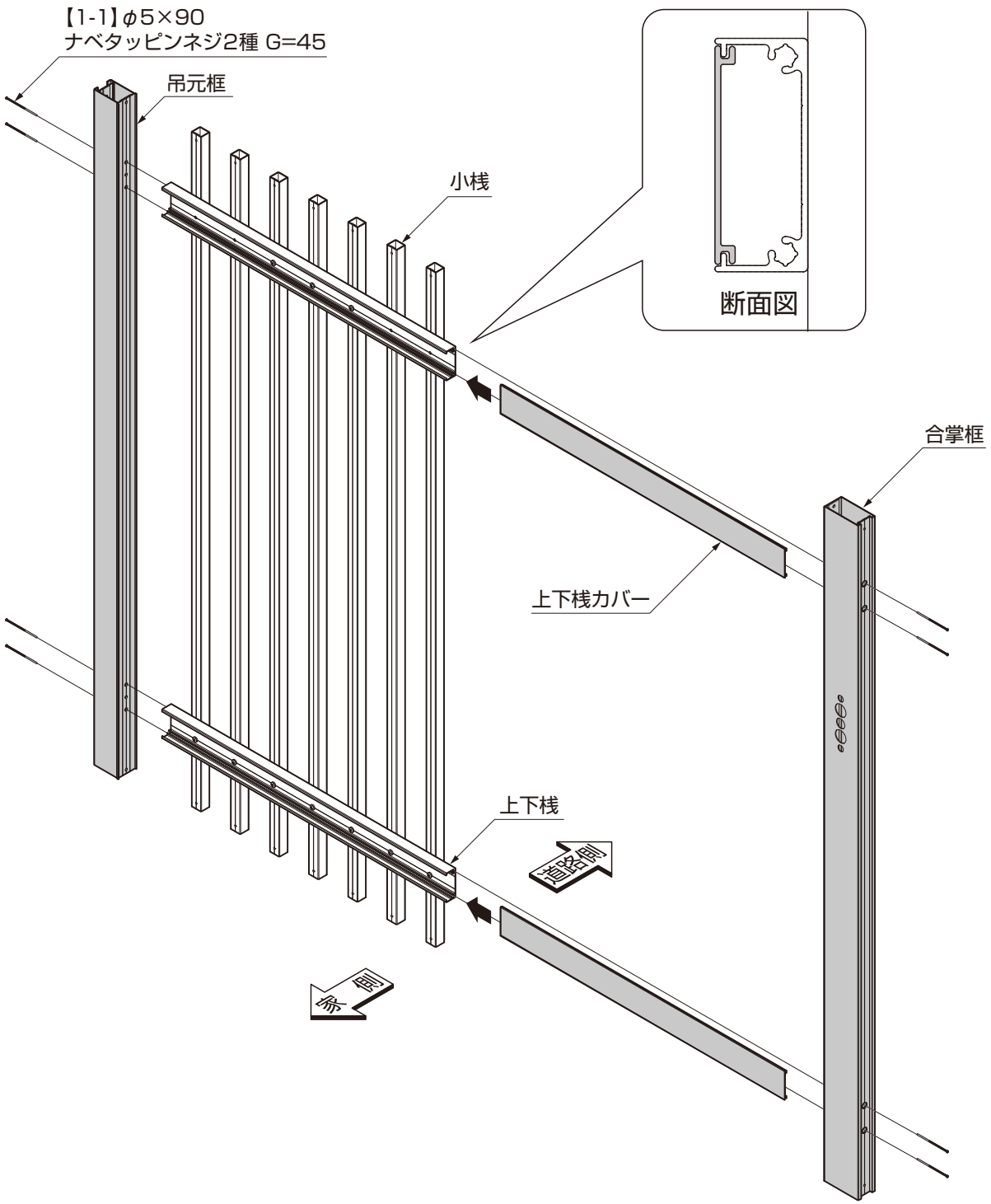
図2-1

①小桟を上下桟に【1-2】で固定してください。(図 2-1 参照)

ポイント

- 上下桟を組付ける際、ドライバーの勢いが強過ぎるとネジ頭が飛んでしまう恐れがある為、ゆっくりと慎重に組付けてください。
- 全ての下穴に上下桟と上下桟カバーを取付けるとネジが足りなくなります。(図2-1参照)
- 切詰めた際、中心となる小桟3本は上下で4点止めしてください。小桟が3本以下になった場合は、全ての小桟を上下で4点止めしてください。

2.（つづき）　※図は右吊元時です。



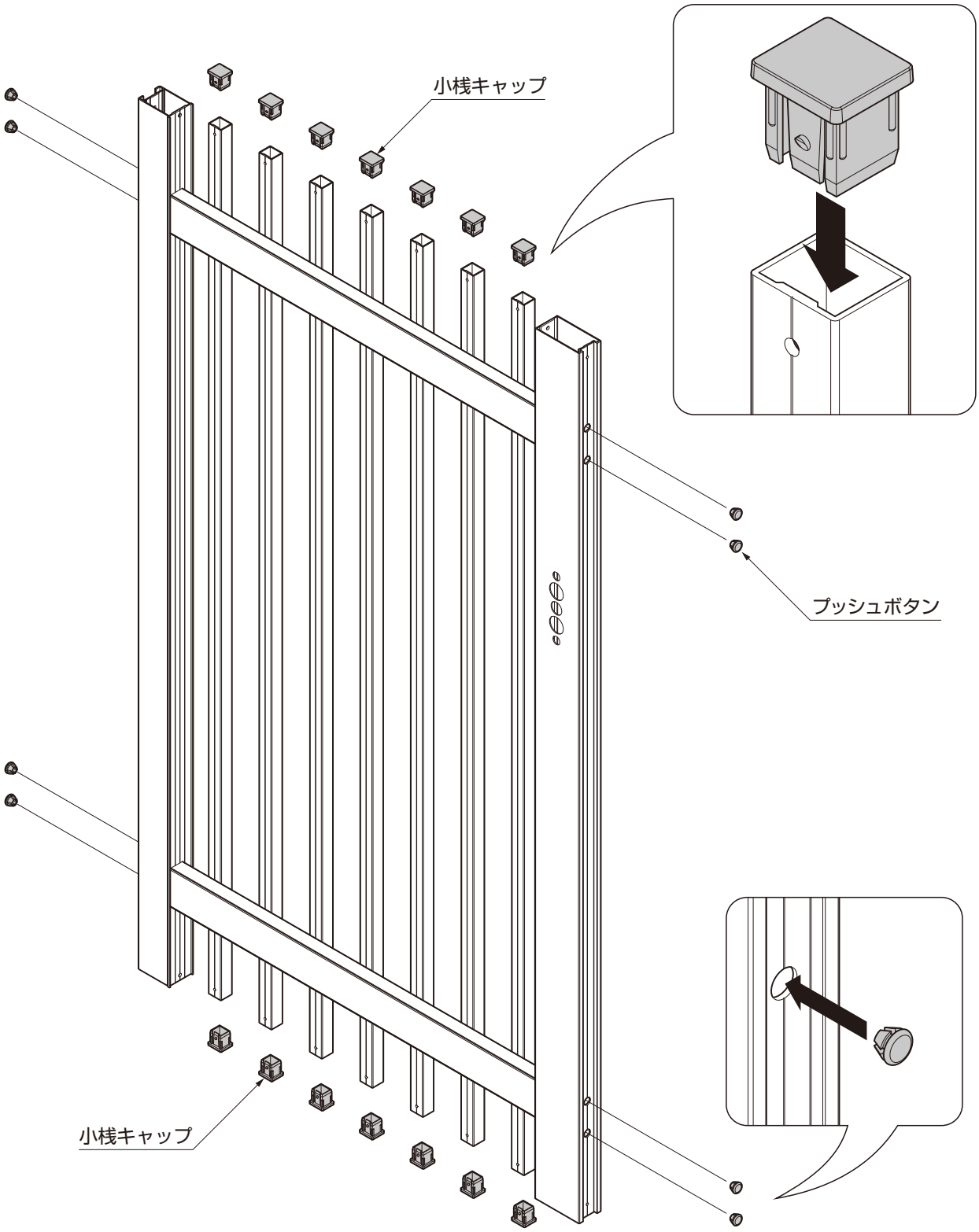
②上下桟カバーを上下桟にスライドして取付けてください。

ポイント

●上下桟カバーは、上下桟カバーにそえ木をしてゴムハンマーでたたいて挿入してください。

③合掌框、吊元框を上下桟に【1-1】で取付けてください。右吊元時は吊元框を道路側から見て右に、左吊元時は吊元框を同じく左にして組付けてください。

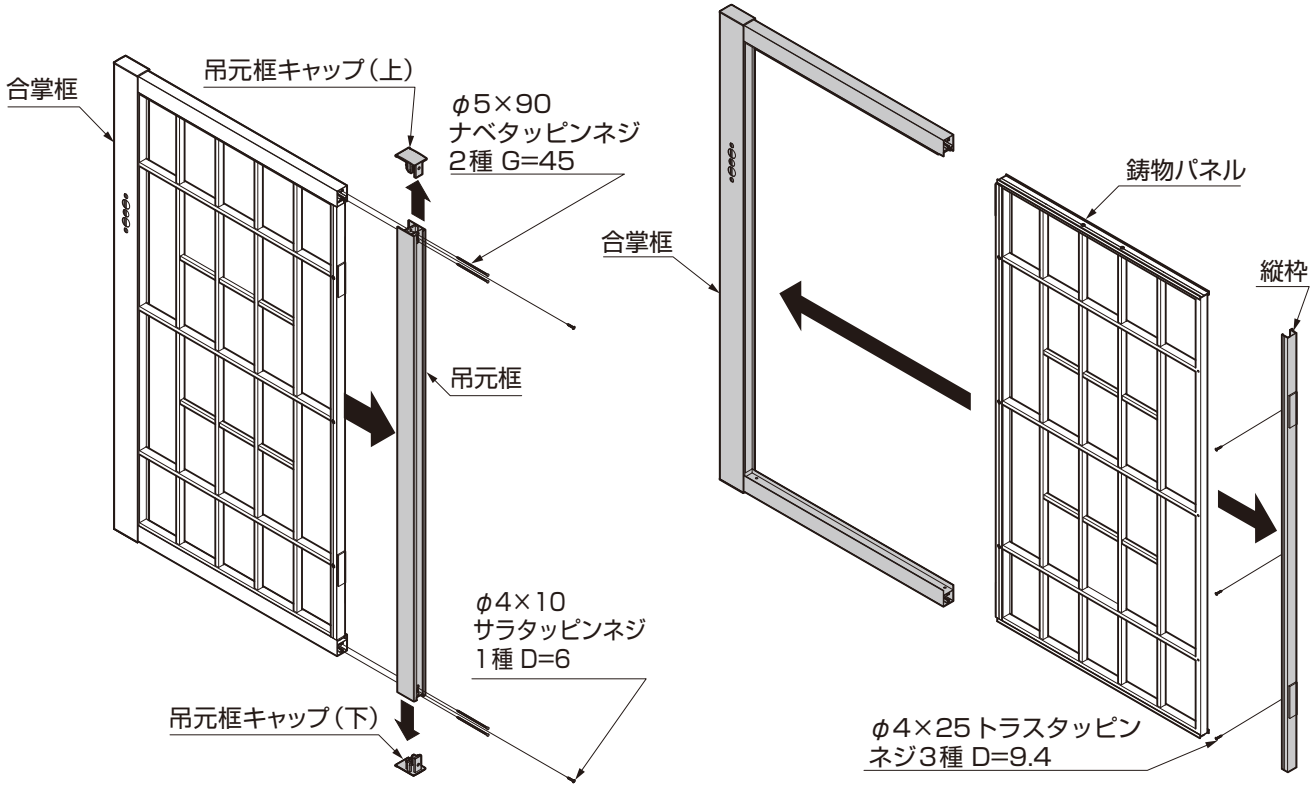
A539_201102A



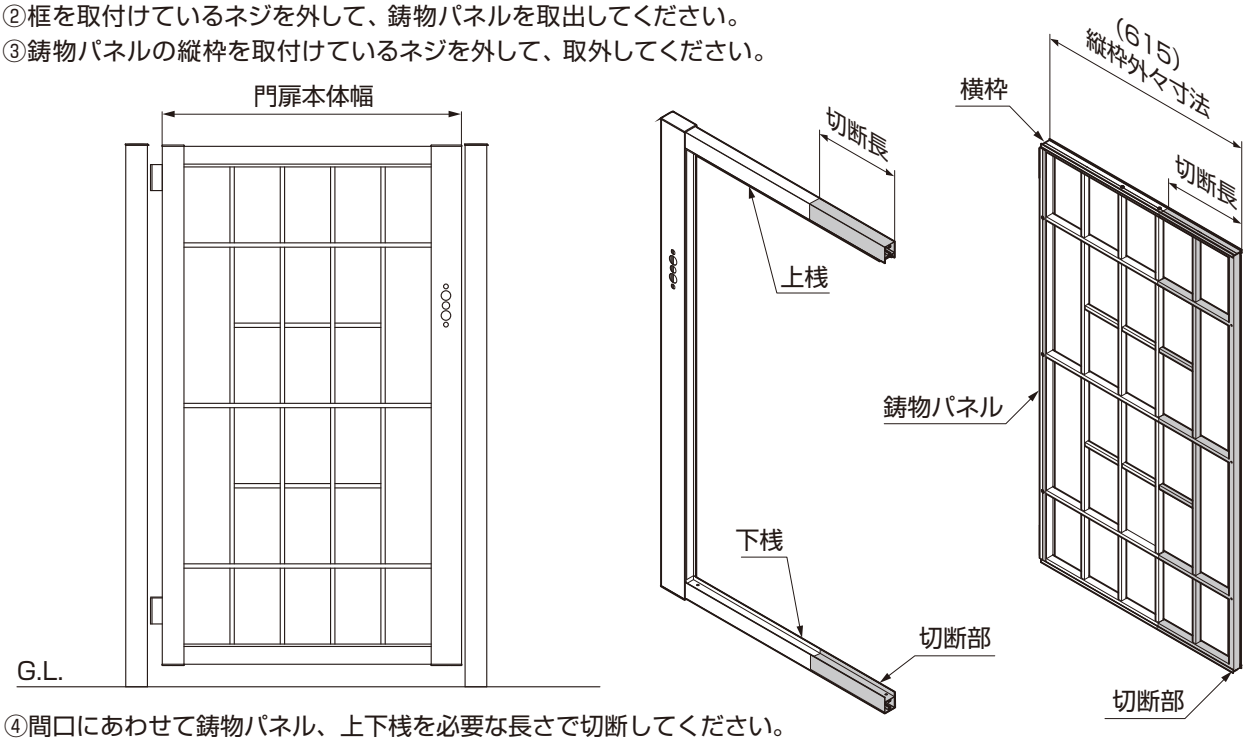
④小桟キャップを小桟の穴に小桟キャップの突起を押し込んで取付けてください。
⑤プッシュボタンを合掌框、吊元框に取付けてください。

A539_201210D

3. Bタイプの門扉の切詰め　※切り詰める場合の作業です。



①框キャップを取付けているネジを外して、上下の框キャップを取外してください。
②框を取付けているネジを外して、鋳物パネルを取出してください。
③鋳物パネルの縦枠を取付けているネジを外して、取外してください。

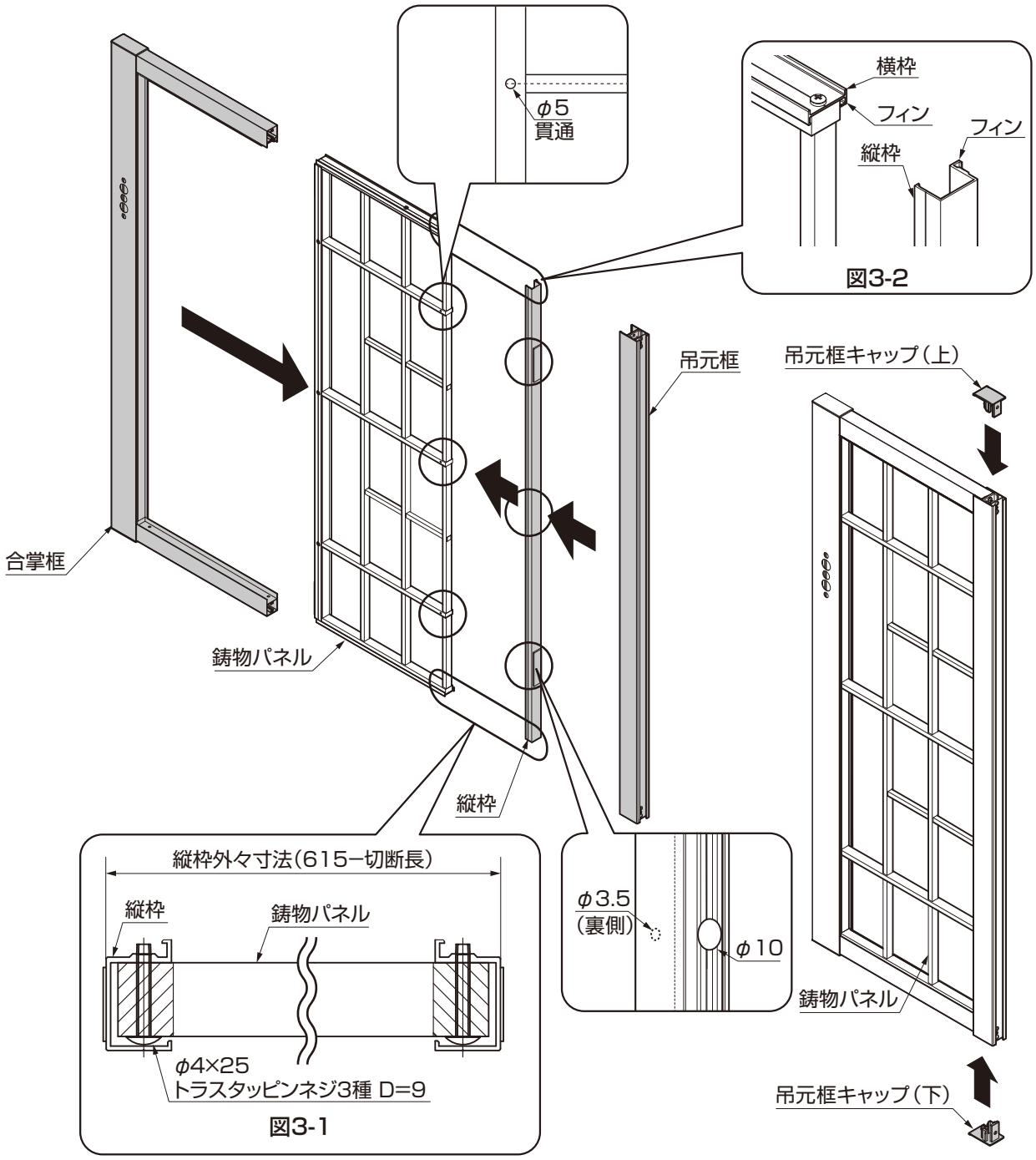


④間口にあわせて鋳物パネル、上下桟を必要な長さで切断してください。

ポイント

- 鋳物パネルを切詰める際、横枠をしっかりとおさえながら切詰めてください。
- W方向は門扉本体幅350mmまで切断できます。
- 上下桟、鋳物パネルの切断長は全て同じ寸法に合わせてください。

A539_201102A



⑤縦枠を取付ける際、縦枠外々寸法が 615−切断長となるように縦枠を鋳物パネルに配置し、
縦枠を位置決め治具にして、鋳物パネルに縦枠取付け穴φ5 を 3 カ所あけてください。

⑥取外した手順と逆の手順で、鋳物パネルに縦枠、合掌框、框キャップを取付けてください。（図 3-1 参照）

ポイント

●縦枠には取付ける向きがあります。横枠のフィンと縦枠のフィンが同じ向きに向くよう組付けてください。（図3-2参照）

●縦枠外々寸法が規定寸法からずれていた場合、鋳物パネルが形材枠にうまく組付けられなくなります。

A539_201210D

4. ヒンジの取付け　※図はAタイプを示します。

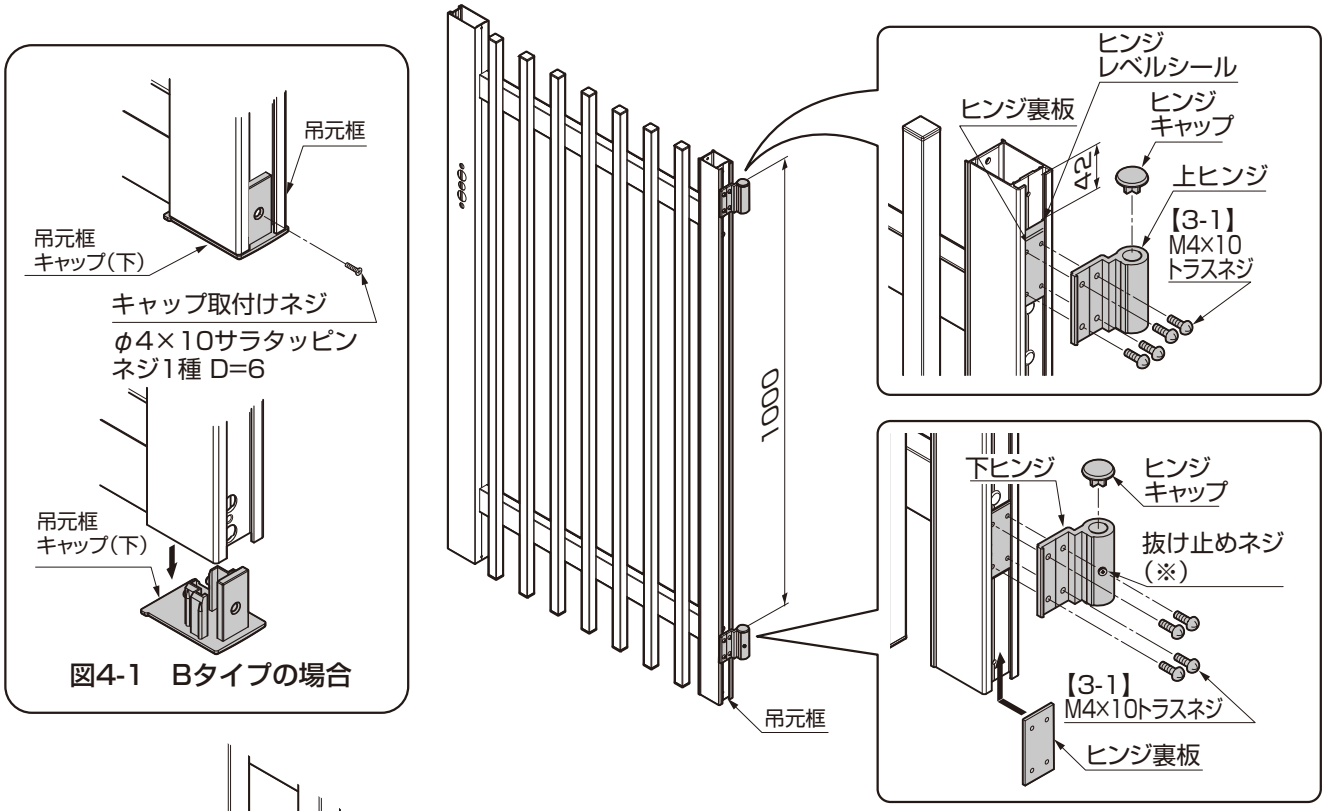


図4-1　Bタイプの場合

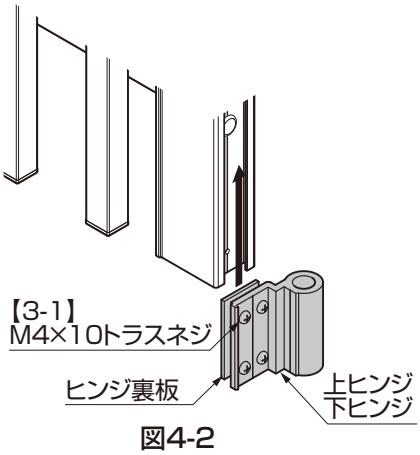


図4-2

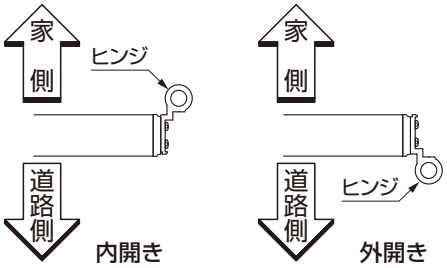


図4-3　ヒンジ取付方向

①キャップ取付けネジを取外し、吊元框キャップ(下)を取外してください。(Bタイプのみ)(図4-1参照)
②ヒンジ裏板を吊元框にスライドさせ、各ヒンジを図に示す位置に【3-1】で固定してください。
③ヒンジキャップをヒンジに取付けてください。
④ヒンジの取付けが終了したら吊元框キャップ(下)を取外した手順と逆の手順で取付けてください。(Bタイプのみ)(図4-1参照)

ポイント

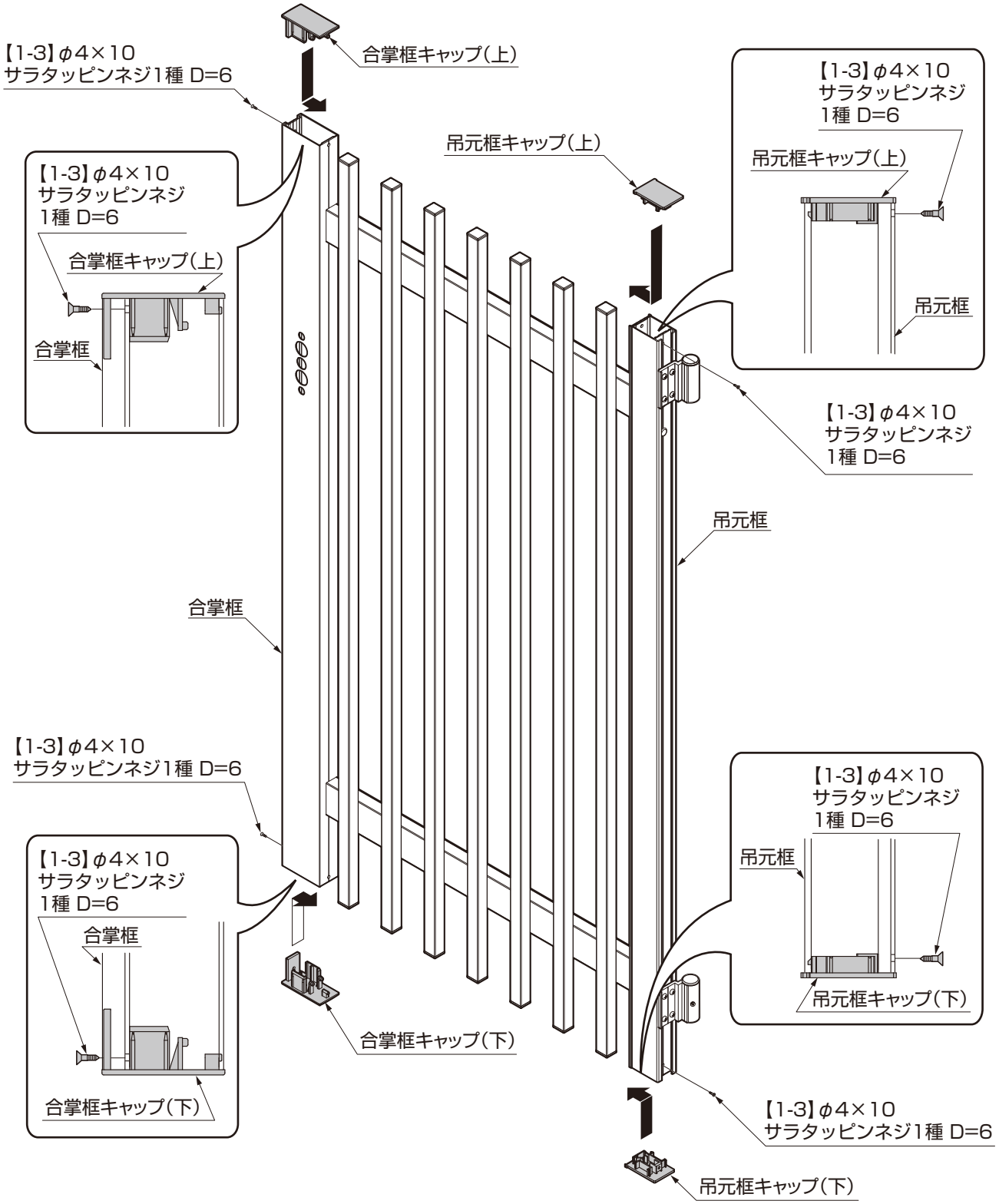
●ヒンジには上ヒンジと下ヒンジの区別があります。
●抜け止めネジ(※)がついているヒンジが下ヒンジです。
●Bタイプは左右の区別がありません。

補 足

●あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、組付けると簡単です。(図4-2参照)
●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図4-3参照)

A539_201102A

5. 框キャップの取付け　（Aタイプのみ）



①框キャップを【1-3】で取付けてください。

補 足

●合掌框キャップ(下)および吊元框キャップ(下)には水抜き用の穴があいています。

A539_201210D

6. 戸当りの取付け

※図はAタイプを示します。Bタイプも同様の方法で取付けてください。

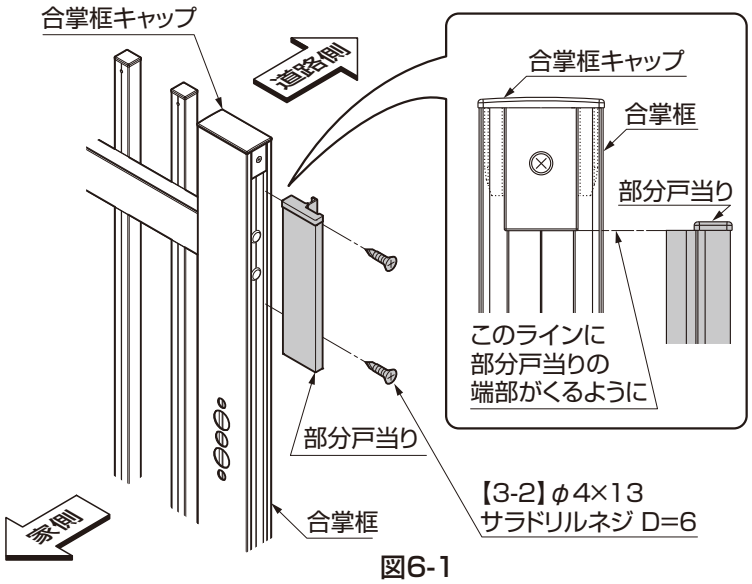
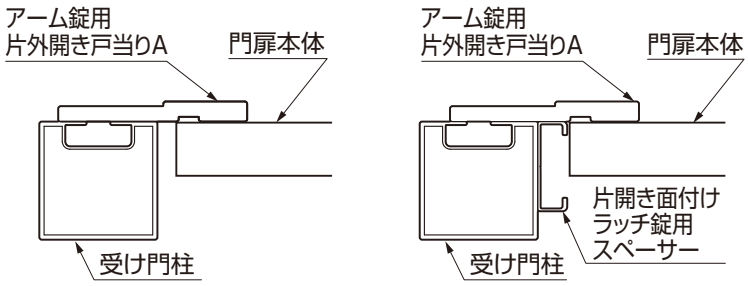


図6-1



シリンダーRD片錠(S)仕様　　面付けラッチ錠仕様

図6-2

①部分戸当りを合掌框に引っ掛けてはめ込み、【3-2】で取付けてください。(図6-1参照)

ポイント

- ●部分戸当りは内開き時に、家側に取付けてください。
- ●壁付錠受け使用で外開き時は、門扉の道路側に部分戸当りを取付けてください。

補 足

- ●合掌框には戸当り取付け用の穴加工はありません。

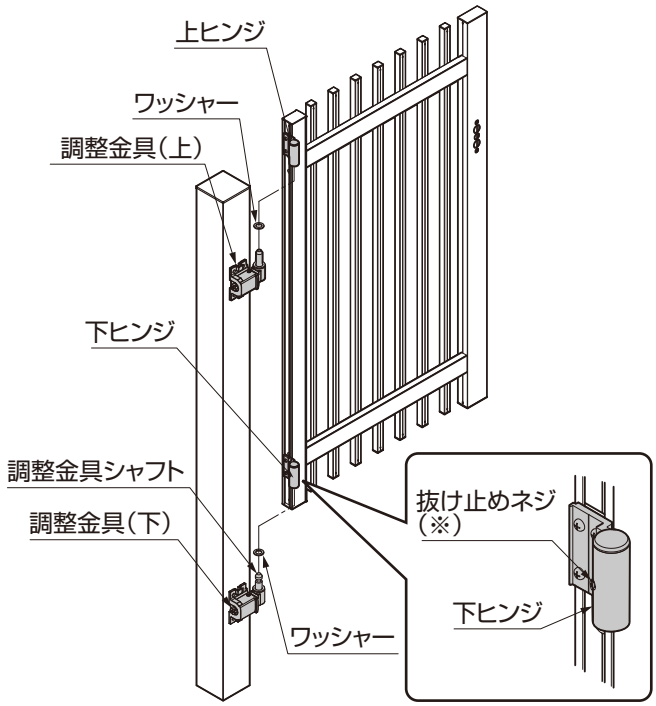
②外開き時には、門柱にアーム錠用片外開き戸当りAを「1-2部品配置図シリンダーRD片錠(S)仕様」「1-3部品配置図面付けラッチ錠仕様」の通り取付けてください。

ポイント

- ●アーム錠用片外開き戸当りAの取付けに際しては、アーム錠用片外開き戸当りA・B・C取付説明書<A320>もあわせて、ご参照ください。
- ●面付けラッチ錠の時は、アーム錠用片外開き戸当りAを門扉に当たるように引き出して固定してください。(図6-2参照)

7. 門扉の吊込み

※図はAタイプを示します。Bタイプも同様の方法で取付けてください。



①下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」をゆるめてください。

②調整金具に同梱のワッシャーを、調整金具シャフトに取付けてください。

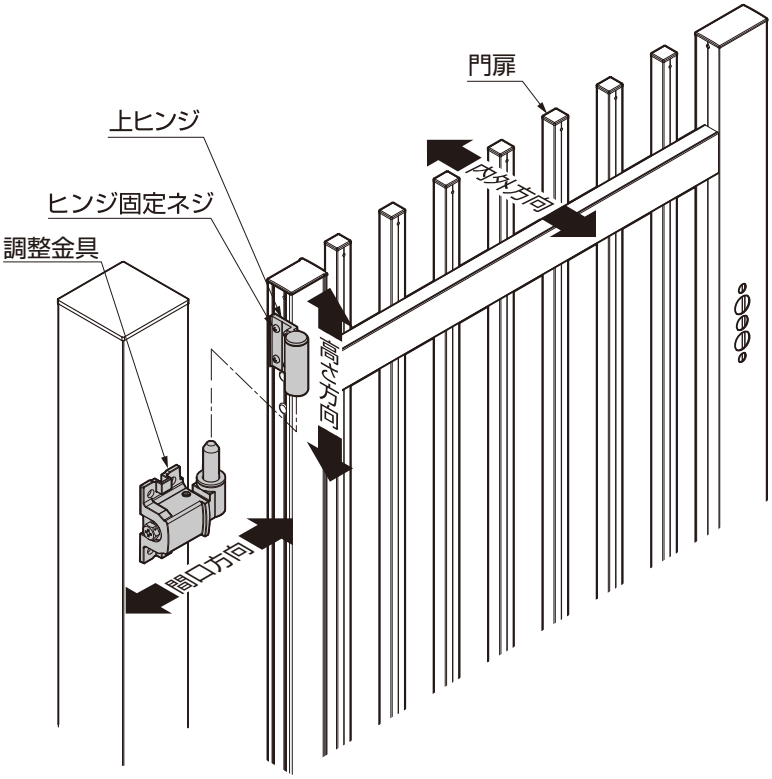
③調整金具シャフトに上ヒンジ、下ヒンジを差込んで、門扉を吊込んでください。

④下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」を締め込んでください。

A539_201102A

8. 門扉の調整　※図はAタイプを示します。Bタイプも同様の方法で取付けてください。

8-1 門扉の調整方法



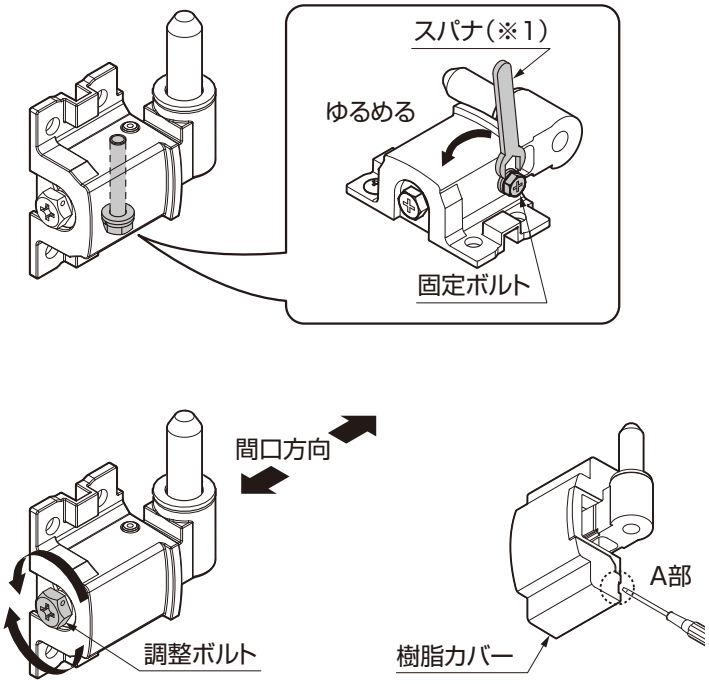
①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

ポイント

●門扉とG.L.のすきまは50mmが標準です。

②間口方向および内外方向の調整方法は、「8-2 間口・内外方向の調整」により調整金具で調整してください。

8-2 間口・内外方向の調整



①A部にマイナスドライバーをはめて、樹脂カバーを取外してください。

注 意

●無理に外そうとすると樹脂カバーが破損するおそれがあります。

②固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

●必ず市販の呼び10スパナを使用してください。（※1）
●「固定ボルト」を締めたまま間口寸法の調整を行なうと「調整金具」が破損します。

8. （つづき）

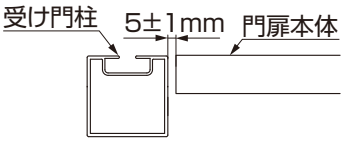


図8-1

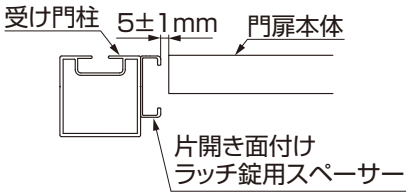
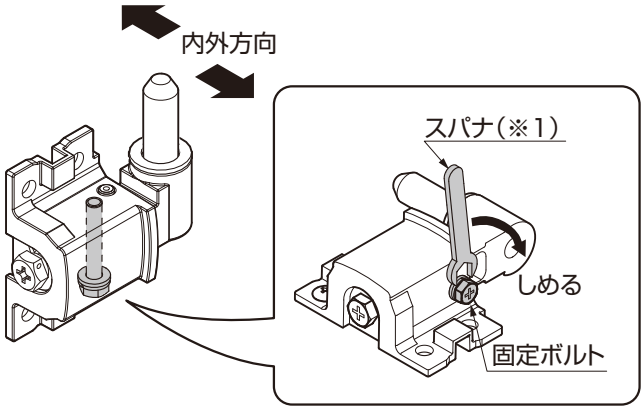


図8-2



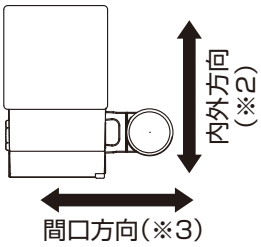


表8-1　調整範囲

内外方向（※2）	±5mm
間口方向（※3）	±8.5mm

③「調整ボルト」をまわし、間口寸法を決めてください。（図8-1参照）

ポイント

- ●アーム錠仕様の場合、門扉本体と受け門柱のチリ寸法は5±1mmに調整してください。（図8-1参照）
- ●面付けラッチ錠仕様の場合、門扉本体と片開き面付けラッチ錠用スペーサーのチリ寸法は5±1mmに調整してください。（図8-2参照）
- ●上部のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。

④内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

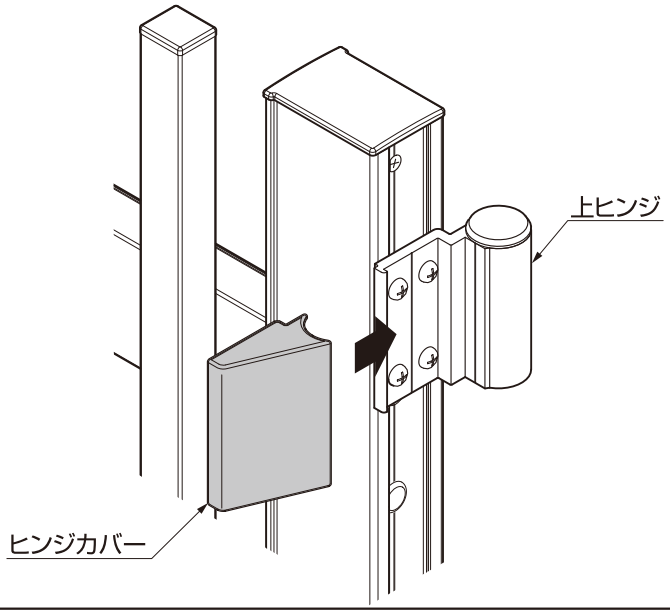
補足

- ●調整範囲は表8-1を参照してください。

⑤調整が完了したら、樹脂カバーを取付けてください。

9. ヒンジカバーの取付け

※図はAタイプを示します。Bタイプも同様の方法で取付けてください。



①上ヒンジと下ヒンジに、ヒンジカバーをはめ込んでください。

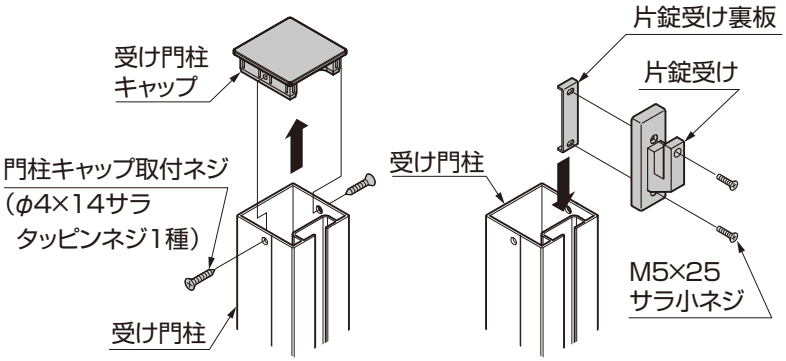
ポイント

- ●ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

A539_201105B

10. 錠の取付け

10-1 アーム錠の取付け



①錠の取付説明書を参考に門扉に錠を取付けてください。
②受け門柱キャップを取外してください。
③片錠受け裏板を受け門柱にスライドさせて、片錠受けをM5×25サラ小ネジで取付けてください。
④受け門柱キャップを取外した手順とは逆の手順で取付けてください。

補 足

●片錠受け裏板は門柱セットに梱包されています。

10-2 面付ラッチ錠の取付け

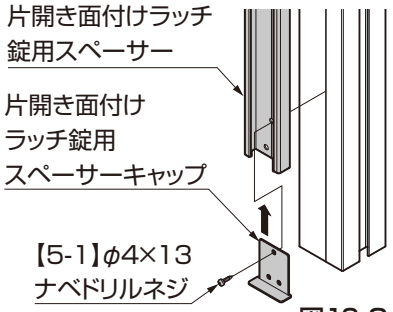


図10-2

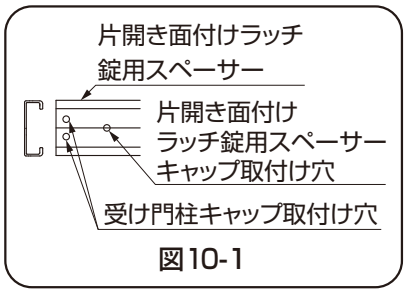


図10-1

①受け門柱キャップを取外してください。
②片開き面付けラッチ錠用スペーサーと下部分の片開き面付けラッチ錠用スペーサーキャップを下穴にそって受け門柱に【5-1】で取付けてください。

ポイント

●受け門柱のV溝と片開き面付けラッチ錠用スペーサーのV溝を合わせて、直接取付けてください。
●下部分の片開き面付けラッチ錠用スペーサーキャップを取付ける際は、片開き面付けラッチ錠用スペーサーキャップ取付け穴1箇所で固定してください。（図10-1、図10-2参照）

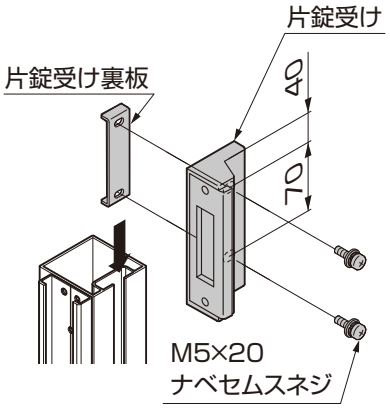
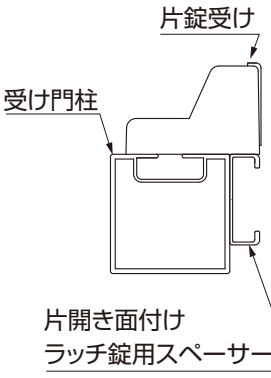


図10-3



補 足

●片錠受け裏板は門柱セットに梱包されています。

③面付けラッチ錠の取付説明書を参考に門扉に錠を取付けてください。
④片錠受けを取付けてください。（図10-3参照）
⑤受け門柱キャップと片開き面付けラッチ錠用スペーサーキャップの上側を受け門柱キャップを取付けていたネジと【5-1】で取付けてください。

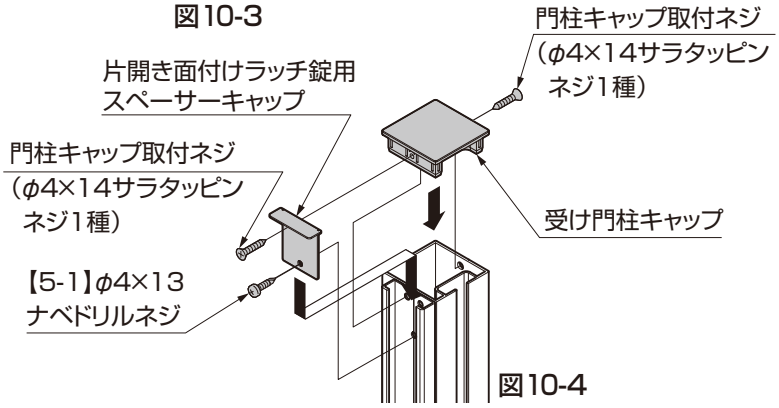


図10-4

11. 壁付錠受けの取付け

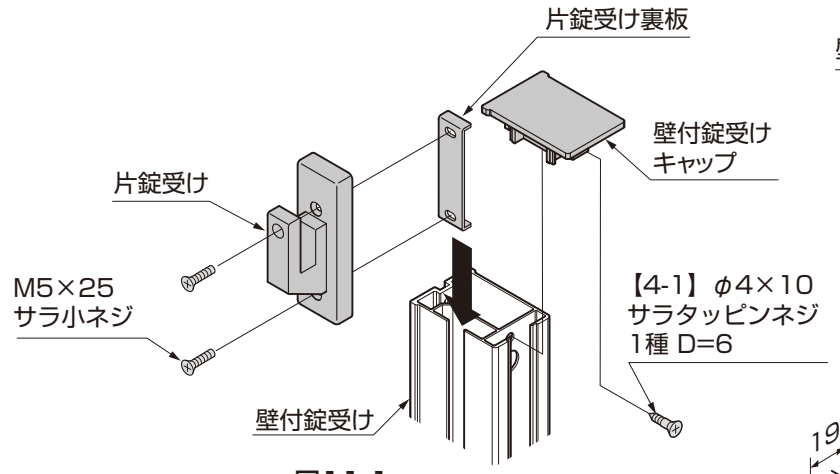


図11-1

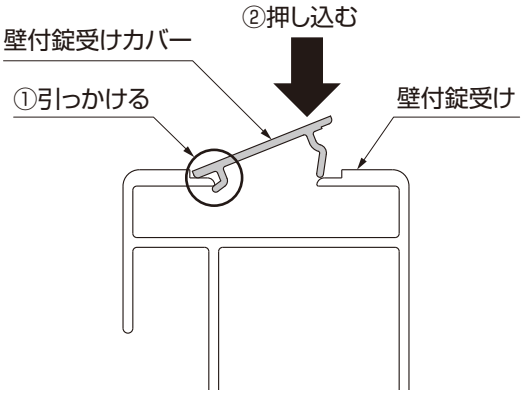


図11-2　壁付錠受けカバーの付け方

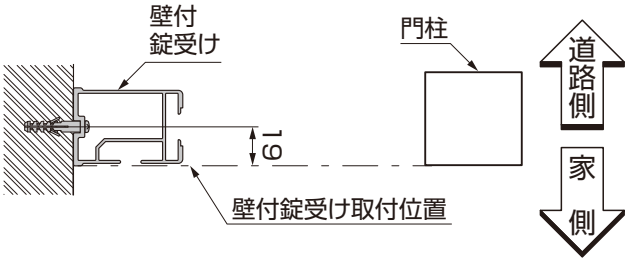


図11-3

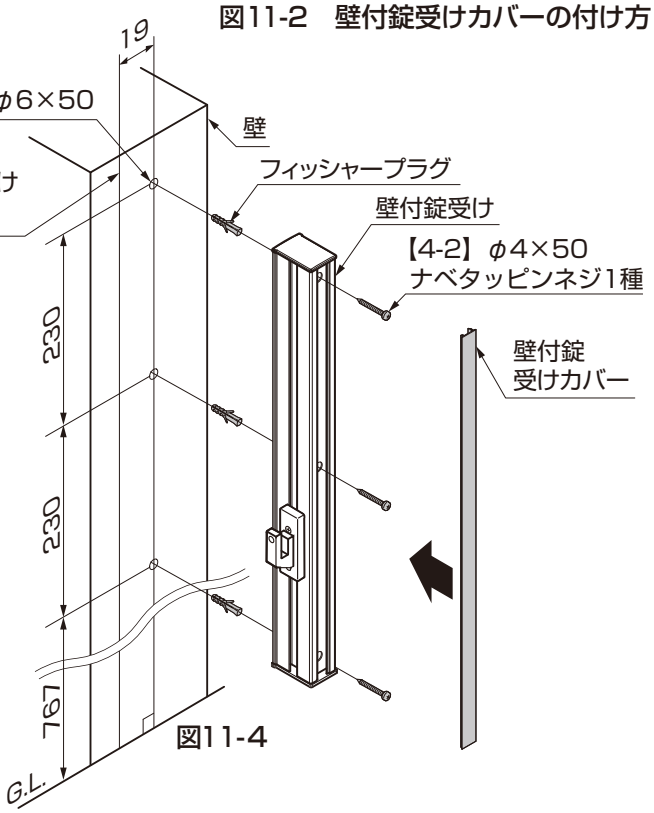


図11-4

①片錠受け裏板を壁付け錠受けにスライドさせて片錠受けをM5×25サラ小ネジで取付けてください。(図11-1参照)
②壁付錠受けの上下に壁付錠受けキャップを【4-1】で取付けてください。
③壁面が垂直かつ、平たんであることを確認してください。
④図11-3を参照し、取付位置を確認してください。
⑤図11-4を参照し、下穴をあけてください。
⑥下穴にフィッシャープラグを挿入し、【4-2】で壁付錠受けを固定してください。
⑦壁付錠受けカバーを取付けてください。

ポイント

●壁付錠受けカバーを取付ける際は、カバーの向きに注意してはめ込んでください。(図11-2参照)

取説コード
A539

JZZ621179D
201102A_1041
201607E_1048